

B-149 近世以降に於ける農民服飾の研究・文献に於ける衣生活(三)
和洋女大文家政 鷹司繪子

目的 近代に引継がれた常民生活から推察されるのがつねであった農村の衣生活に、文献を中心とした同時代の資料を求め出し、実態を探り出すことが目的である。今年は湖西より西の本州諸国ととりあつた。

方法 地誌・郷土史・法度・其他古記録類を基本資料とし、考察を加えた。

結果 半地域には木綿の主要産地が含まれて居る。その為、農民一般に出された衣料規制の木綿使用が、より実質的問題となる。又綿産地以外でも何かの特産物を持つ場合が多いから、経済力・交通路共に他国文化を受け入れやすい。しかも上方文化の中心と近い接しているから、御救米を受け、農業を続けたら、奢侈な風が入り込んでくる。全国的な問題とは云之こうした問題も半地域では、紺を禁じて浅黄深に又極寒以外の股引禁止等、それが通常は農民のものだけに一見苛酷に見え乍ら実はそこまですり締らぬは田畑を手放しかねない農村生活の弛緩がうかがい知られたのである。